

(仮称) 3市共同資源物処理施設整備実施計画(案) ・ (仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画(案)

<主な意見と回答>

区分	意見	回答
反映	( (仮称) 3市共同資源物処理施設) 施設の高さは再検討できないか。	現時点で24メートルとしていますが、今後、プラントメーカーからの提案によって変わる可能性があります。施設の高さについては、必要な機能を確保し、可能な範囲で低くする旨の表記を追加します。
その他	(2施設共通)	
	年間維持費はどの程度になるのか。	設置する設備により運転業務が大きく変わってきます。詳細な維持管理費は次の段階になりますが、概算の費用をできるだけ早い時期に示せるようにしたいと考えています。仮に現在の計画案で積算すると、資源物処理施設が年間約2億円～2億4千万円、不燃・粗大ごみ処理施設が年間約1億2千万円～1億5千万円と見込んでいます。
	規制基準が2施設で異なるのはおかしい。低いほうに合わせるべきである。	基準は、立地場所の状況に応じて設定しています。規制の水準は周辺地域の生活環境に影響のない十分に低い値を設定しています。
	発電のことが記載されていないがしないのか。	この2つの計画は、資源物処理施設と不燃・粗大ごみ処理施設の計画です。焼却施設の更新時には焼却施設で発電した電力を不燃・粗大ごみ処理施設で活用する予定です。
	( (仮称) 3市共同資源物処理施設)	
臭気対策として、収集車の入り口にエアーカーテンのほか、扉を二重にできないか。	資源を貯留するピットと搬入車両が資源を投入するプラットフォームの間に投入扉を、プラットフォームへの出入口に搬出入扉及びエアーカーテンを設置します。これにより、外部への臭気漏えいを防止できると考えています。	

区分	意見	回答
その他	搬入車両、搬出車両を合わせるとかなりの台数になるのではないか。付近に学校もあり、安全面が懸念される。	搬入車両は1日64台程度、搬出車両は10トントラックで1日当たり1～2台程度です。現状の交通量に対する影響は少ないものと考えていますが、安全面について十分に配慮します。
	近くに大型商業施設があり、土曜・日曜は車が混み合う。搬入・搬出車両の影響は。	搬入車両は1日64台程度で土曜・日曜の搬入・搬出は行わないため、影響はないと考えています。
	ダイオキシンの発生等、環境影響はどうか。	焼却や化学処理をする施設ではなく、プラスチックを選別し、きれいなものを圧縮・梱包する施設なのでダイオキシン類は発生しません。
	環境についてのモニタリングはどのようにするのか。環境モニタリングはT-VOCだけではない。モニター制度を設けるべきである。	総揮発性有機化合物（T-VOC）について定期的に濃度測定し公表していく予定です。具体的なモニタリングは施設周辺地域住民との協議により検討します。
	環境対策が心配で、施設ができたあとに住んでいられるかが不安である。	環境対策については、技術的に確立した最新技術を導入します。これにより、施設周辺地域の生活環境への影響はないと考えていますが、環境面のモニタリングを行い公表していく予定です。
	容リプラとペットボトルは混合収集を行わないとの記載があるが、混合収集をしないことにするのか。	現在、武蔵村山市においては容リプラとペットボトルを混合で収集していますが、3市共同資源物処理施設完成後には3市とも容リプラとペットボトルを別々に収集することになります。
	3市の人口と処理量の推移で処理量に変化がないが、店頭回収等の事業者責任で処理することを推進しないのか。	事業者に対し継続して働きかけをしていきます。
	小平市の容リプラが平成31年度で大幅に増えているが、軟質プラの増加だけが要因か。	現在、軟質系のプラスチック約1500トン～1600トンが焼却されていると推計していますが、この数値を加えたものです。
	ペットボトルは袋回収に統一されるとあるが、東大和市で行っている拠点回収は残さないのか。	平成26年8月よりペットボトルは全てステーション（集積所）方式で袋回収しています。

区分	意見	回答
	太陽光発電を取り入れる記載があるが、どの程度の供給量か。	今後、プラントメーカーの提案内容で建物の形が変わる場合があります。現段階で何キロワットを目指すというようなものではありません。
その他	(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設	
	耐用年数は。	資源物処理施設と同様ですが、設備として概ね7年～15年で大幅な改修が必要となります。その際に建物の耐用にあわせて改修します。最終的には約30年と考えています。
	不燃ごみの推移で、他2市は減っていないが小平市だけが平成31年度から減っているのはなぜか。	一般廃棄物処理基本計画で平成31年度からごみの有料化を予定していますことから、分別が進むと考えています。
小平市は有料化によりごみ量が減るとのことだが、武蔵村山市が減っていないのはなぜか。	一般廃棄物処理基本計画で平成30年度を目途に有料化を検討します。集計上の結果として表記していますが、一人あたりのごみ量は減ると考えています。	